

3 防災訓練実施状況

(1) 福岡県総合防災訓練参加機関等一覧表

回	年度	訓練日	共催市町村	訓練実施場所	地域	消防本部	参加機関	訓練人員	車両	船舶	航空機	訓練種目
1	40	昭和40年5月20日(木)	久留米市	久留米市筑後川河川敷(久留米大橋下流)	県南	久留米市消防本部		2,500				
2	41	昭和41年6月3日(金)	杷木町	杷木町筑後川河川敷(昭和橋下流)	県央	甘木朝倉消防本部						
3	42	昭和42年6月10日(土)	芦屋町	芦屋町遠賀川河川敷	県北	遠賀消防本部						
4	43	昭和43年6月7日(金)	久留米市	久留米市筑後川河川敷(久留米大橋下流)	県南	久留米市消防本部						
5		昭和43年6月13日(木)	岡上訓練	(消防会館)								
6	44	昭和44年5月30日(金)	飯塚市	飯塚市遠賀川河川敷(立岩)	県北	飯塚地区消防本部	13	800				
7	45	昭和45年6月8日(月)	瀬高町	瀬高町矢部川河川敷(船小屋)	県南	瀬高町外二町消防本部						
8	46	昭和46年6月18日(金)	行橋市	行橋市今川河川敷(今川大橋上流)	県北	行橋消防本部						
中止	47	昭和47年5月30日(火)	甘木市 田主丸町	甘木市・田主丸町筑後川河川敷	県央	甘木朝倉消防本部 県南広域消防本部						
9	48	昭和48年5月18日(金)	八女市 立花町	八女市・立花町矢部川河川敷(中川原橋上流)	県南	八女消防本部						
10	49	昭和49年5月21日(火)	杷木町 吉井町	杷木町・吉井町筑後川河川敷(原鶴橋下流)	県央	甘木朝倉消防本部 県南広域消防本部						
11	50	昭和50年6月4日(水)	直方市	直方市遠賀川河川敷(日の出橋下流)	県北	直方市消防本部	1,300					
12	51	昭和51年5月31日(月)	津屋崎町	津屋崎町海岸(渡)	県央	宗像消防本部						
13	52	昭和52年5月16日(月)	志摩町	志摩町(芥屋漁港)	県央	糸島消防本部	900					
14	53	昭和53年6月1日(木)	城島町	城島町筑後川河川敷(浜)	県南	県南広域消防本部						
15	54	昭和54年6月6日(水)	福岡市	福岡市東区雁の巣(雁の巣レクリエーションセンター南側海)	県央	福岡市消防局	23	1,493	79	10	8	36
16	55	昭和55年6月9日(月)	飯塚市	飯塚市遠賀川河川敷(立岩)	県北	飯塚地区消防本部						
17	56	昭和56年5月8日(金)	芦屋町	芦屋町(西浜町海岸埋立地)	県北	遠賀消防本部	26	1,207	99	7	11	36
18	57	昭和57年5月12日(水)	吉井町	吉井町筑後川河川敷(千年地先)	県南	県南広域消防本部	26	1,200	67	3	8	36
19	58	昭和58年5月26日(木)	苅田町	苅田町海岸埋立地(新浜町地先)	県北	苅田町消防本部	29	1,244	104	8	8	37
20	59	昭和59年5月23日(水)	八女市	八女市矢部川河川敷(矢原地先)	県南	八女消防本部	30	923	59	1	8	31
21	60	昭和60年5月24日(金)	二丈町	福吉漁港(二丈町)	県央	糸島消防本部	37	935	52	6	8	35
22	61	昭和61年5月20日(火)	久留米市	久留米市筑後川河川敷(小森野橋上流)	県南	久留米市消防本部	29	1,244	88	1	7	34
23	62	昭和62年5月19日(火)	吉富町	吉富町山国川河川敷(山国大橋上流)	県北	京築広域消防本部	38	1,128	89		7	37
24	63	昭和63年5月26日(木)	玄海町	鐘崎漁港(玄海町)	県央	宗像消防本部	43	1,162	84	6	10	30
25	元	平成1年5月26日(金)	大川市	大川市筑後川河川敷(大川市総合運動公園)	県南	大川市消防本部	36	1,080	115	3	14	30
26	2	平成2年5月24日(木)	八女市	八女市矢部川河川敷(矢原地先)	県南	八女消防本部	43	965	122		8	30
27	3	平成3年5月24日(金)	直方市	直方市遠賀川河川敷(日の出橋上流)	県北	直方市消防本部	32	972	101		8	30
28	4	平成4年5月29日(金)	志摩町	船越漁港(志摩町)	県央	糸島消防本部	47	865	72	13	16	19
29	5	平成5年5月25日(火)	大牟田市	三池港(大牟田市)	県南	大牟田市消防本部	54	1,115	108	14	23	24
30	6	平成6年5月24日(火)	中間市	遠賀川河川敷(中間市大字中間)	県北	中間市消防本部	38	677	84	1	26	25
31	7	平成7年5月24日(水)	田川市	田川市遠賀川河川敷(大字橋)	県北	田川市消防本部	64	823	130	6	16	26
32	8	平成8年5月23日(金)	筑紫野市 太宰府市	筑紫野市天拝坂開発地区(杉原・塔原地区)	県央	筑紫野太宰府消防本部	98	1,191	199		12	17
33	9	平成9年6月5日(木)	筑後市 八女市 瀬高町	九州松下電器筑後工場(筑後市) 矢部川河川敷、八幡小学校(八女市) 矢部川中の島公園(瀬高町)	県南	筑後市消防本部 八女消防本部 瀬高町外二町消防本部	105	2,000	180		12	67
34	10	平成10年5月28日(木)	北九州市	新門司フェリーターミナル(北九州市門司区周辺)	県北	北九州市消防局	79	1,500	210	11	11	27
中止	11	平成11年8月31日(木)	鞍手郡4町	地域振興整備公園工場団地造成地(宮田町)	県北	直方鞍手消防本部	(予定)	1,300	140		9	20
35	12	平成12年5月26日(金)	福岡市	香椎パークボート(福岡市東区)	県央	福岡市消防局	100	2,000	180		2	45
36	13	平成13年5月25日(金)	粕屋地区 1市7町	久山町サッカー場(糟屋郡久山町)	県央	粕屋南部消防本部 粕屋北部消防本部	110	3,500	120		8	42
37	14	平成14年5月29日(水)	甘木朝倉地区 1市4町2村	筑後川河川敷(甘木市大字長田地先)	県央	甘木朝倉消防本部	120	4,200	130		12	47
38	15	平成15年6月1日(日)	小郡市他 4市3町	筑後小郡簡保レクセンター跡地(小郡市三沢字ハサコ宮5208-1)	県央	県南広域消防本部 春日大野城那珂川消防本部	120	4,500	180		7	40
39	16	平成16年5月30日(日)	柳川市他 1市5町	三井鉱山(株)所有地(柳川市大字橋本町中東区7番11)	県南	柳川消防本部 筑後市消防本部	93	1,500	160		6	32
40	17	平成17年6月5日(日)	嘉飯山地区	飯塚市遠賀川河川敷(目尾地区)	県北	飯塚地区消防本部	109	1,400	160		9	35
41	18	平成18年5月28日(日)	福岡市 宗像市	福岡漁港(福津市)	県央	宗像消防本部	95	1,400	120	7	12	32
42	19	平成19年6月3日(日)	大川市	筑後川総合運動公園(大川市大字大野島)	県南	大川市消防本部	103	1,400	150	10	14	34
43	20	平成20年5月25日(日)	行橋市	行橋総合公園(行橋市大字今井)	県北	行橋消防本部	64	1,300	130	7	9	39

回	年度	訓練日	共催市町村	訓練実施場所	地域	消防本部	参加 機関	訓練 人員	車両	船舶	航空機	訓練 種目
44	21	平成21年5月24日 (日)	筑紫野市 太宰府市	宝満川上流浄化センター用地ほか4箇所	県央	筑紫野太宰府消防本部	120	1,200	130	0	7	37
45	22	平成22年5月30日 (日)	久留米市	筑後川河川敷 (久留米市二千年橋上流)	県南	久留米広域消防本部	180	2,200	160	1	11	37
46	23	平成23年6月5日 (日)	遠賀郡4町	芦屋港 (遠賀郡芦屋町西浜町)	県北	遠賀郡消防本部	150	1,300	160	3	12	37
47	24	平成24年6月3日 (日)	糸島市	船越漁港 (糸島市志摩船越)	県央	糸島市消防本部	120	1,900	140	5	11	40
48	25	平成25年6月2日 (日)	大牟田市	日本コース工業用地 (大牟田市新港町)	県南	大牟田市消防本部	120	1,850	140 (128)	3	8 (1)	36
49	26	平成26年6月1日 (日)	苅田町	苅田港南港地区 (苅田町新浜町)	県北	苅田町消防本部	140	1,300	130	7	10	34
50	27	平成27年5月31日 (日)	福岡市	福岡県警察訓練場跡地 (福岡市東区奈多)	県央	福岡市消防局	120	1,900	150	11	6	34
51	28	平成28年5月29日 (日)	柳川市	柳川市橋本町	県南	柳川市消防本部	熊本地震対応のため、中止					
52	29	平成29年5月28日 (日)	吉富町 他1市3町	吉富漁港 (吉富町大字小祝)	県北	京築広域消防本部	100	2,200	87	3	9	38
53	30	平成30年6月3日 (日)	古賀市 他1町	玄望園地区ほか1か所(相島) (古賀市葦内)	県央	南部消防本部粕屋北部消防	90	1,300	110	1	8	32
54	元	令和1年6月2日 (日)	広川町 みやま市	ロームアポロ(株)グラウンド(広川町) みやま市消防本部屋外訓練場(みやま市) ほか5か所	県南	八女消防本部 みやま市消防本部	100	1,800	130	2	8	30

(2)福岡県石油コンビナート等総合防災訓練実施状況一覧表

回	年度	訓練日		訓練実施場所	地域区分	参加機 関数	訓練 人員	車両	船舶	航空機	訓練種 目数
1	56	昭和56年11月26日	(木)	北九州市若松区 響灘埋立地及び周辺海上	北九州	16	322	32	14	2	24
2	57	昭和57年9月2日	(木)	福岡市中央区荒津 荒津給油センター及び周辺海上	福岡	33	541	56	19	3	38
3	58	昭和59年2月10日	(金)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	20	483	58	9	4	31
4	59	昭和59年11月13日	(火)	北九州市小倉北区西港町 日本石油北九州油槽所及び周辺海上	北九州	18	277	45	9	1	30
5	60	昭和60年8月29日	(木)	福岡市中央区荒津 荒津給油センター及び周辺海上	福岡	25	465	57	16	3	37
6	61	昭和61年9月2日	(火)	京都郡苅田町長浜町 九州電力苅田発電所及び周辺海上	苅田	20	412	44	5	2	35
7	62	昭和62年9月3日	(木)	北九州市小倉北区西港町 日本石油北九州油槽所及び周辺海上	北九州	20	337	50	9	3	32
8	63	昭和63年8月30日	(火)	福岡市中央区荒津2丁目 荒津給油センター及び周辺海上	福岡	26	429	61	11	1	37
9	元	平成1年8月30日	(水)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	19	253	41	11	3	33
10	2	平成2年11月6日	(火)	北九州市門司区新門司2丁目 出光興産門司油槽所及び周辺海上	北九州	33	330	41	8	4	32
11	3	平成3年9月5日	(木)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	41	474	69	16	7	22
12	4	平成4年10月22日	(木)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	34	628	47	16	11	22
13	5	平成5年10月14日	(木)	北九州市戸畑区大字戸畑 新日本製鐵八幡製鐵所及び周辺海上	北九州	32	641	53	23	12	22
14	6	平成6年8月31日	(水)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	23	494	57	15	4	26
15	7	平成7年10月19日	(木)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	36	891	49	23	10	26
16	8	平成8年8月7日	(水)	北九州市若松区沖 白島石油備蓄基地及び周辺海上	白島	30	964	13	51	13	20
17	9	平成9年9月4日	(木)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	31	476	62	17	3	27
18	10	平成10年9月3日	(木)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	36	500	45	12	5	24
19	11	平成11年11月18日	(木)	北九州市小倉北区西港町 日石三菱北九州油槽所及び周辺海上	北九州	33	410	72	14	3	23
20	12	平成12年10月17日	(火)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	31	400	54	16	3	29
21	13	平成13年9月12日	(水)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	37	400	51	11	4	26
22	14	平成14年8月28日	(水)	北九州市若松区沖 白島石油備蓄基地及び周辺海上	白島	30	550	26	31	7	21
23	15	平成15年9月11日	(木)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	30	320	40	9	6	28
24	16	平成16年9月8日	(水)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	台風接近により中止					
25	17	平成17年11月9日	(水)	北九州市小倉北区西港 東西オイルターミナル(株)北九州油槽 所及び周辺海上	北九州	41	350	41	10	5	26
26	18	平成18年9月4日	(月)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	26	200	8	12	3	26
27	19	平成19年10月19日	(金)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	26	200	8	12	3	26
28	20	平成20年10月16日	(木)	北九州市若松区 白島国家石油備蓄基地及び周辺海上	白島	28	400	6	14	6	20
29	21	平成21年9月9日	(水)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	35	400	31	11	5	25
30	22	平成22年9月8日	(水)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	35	340	16	13	7	21
31	23	平成24年1月31日	(火)	国と共同による国民保護図上訓練で実施	北九州	16	300	-	-	-	-
32	24	平成24年9月6日	(木)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	29	400	28	7	4	27
33	25	平成25年9月4日	(水)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	大雨洪水警報により中止					
34	26	平成26年10月21日	(火)	北九州市若松区 白島国家石油備蓄基地及び周辺海上	白島	34	400	4	12	5	20
35	27	平成27年11月18日	(水)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	24	400	23	6	2	28
36	28	平成28年11月16日	(水)	豊前市八屋 九州電力豊前発電所及び周辺海上	豊前	31	300	21	13	2	22
37	29	平成29年10月16日	(月)	国と共同による国民保護図上訓練で実施	北九州	13	100	-	-	-	-
38	30	平成30年11月22日	(木)	福岡市中央区荒津1丁目・2丁目 荒津石油基地及び周辺海上	福岡	23	400	19	6	1	22
39	31/元	-	-	-	豊前	特別防災区域解除を踏まえた中止					

団体名称	訓練回数	訓練想定								訓練形態				
		風水害	土砂災害	地震・津波	コンビナート災害	大火災	林野火災	原子力災害	火山災害	その他	総合訓練(実働)	図上訓練	通信訓練	その他
直方・鞍手市町村圏事務組合構成市町														
宮若市	13	7		8						5	9	4		
小竹町	0													
鞍手町	2	1								1	1	1		
甘木・朝倉市町村圏事務組合構成市町村														
朝倉市	3	1		2						1		1	2	
筑前町	1	1									1			
東峰村	2		1				1				2			
粕屋南部消防組合構成町														
宇美町	2			2							2			
篠栗町	4	2					2				2		2	
志免町	4	1				3					3			1
須恵町	1	1									1			
久山町	2	2	2								1	1		
粕屋町	1	1		1								1		
宗像地区消防組合構成市														
宗像市	3	1	1	1							2	1		
福津市	2	1		1							1	1		
粕屋北部消防組合構成市町														
古賀市	3	1		2							3			
新宮町	3									3	3			
遠賀・中間広域行政事務組合構成町														
芦屋町	2	1		1							2			
水巻町	0													
岡垣町	1	1	1								1			
遠賀町	1	1									1			

(4) 令和元年度福岡県総合防災訓練 (第54回)

1 目的

- (1) 県、市町村、防災関係機関の災害時の連携強化
- (2) 県、市町村、防災関係機関の防災技術の向上
- (3) 県民の防災意識の高揚

2 開催日

令和元年6月2日(日) 10:00~12:10
※6月1日に海自艦艇からの給水支援訓練を実施。

3 会場

○広川町会場：ロームアポロ株式会社グラウンド
○みやま市会場：みやま市消防本部屋外訓練場
ほか5か所(いこっと、広川町運動公園、門司港、三池港、大江小学校)

4 主催

福岡県、広川町、みやま市

5 参加機関

消防、警察、自衛隊、医療機関等の防災関係機関約100機関

6 参加予定人員

約1,800名

7 参加車両等

車両：約130台
ヘリ：8機
船舶：2隻

8 災害想定

(1) 風水害

1時間に約110ミリの記録的短時間大雨により、広川町及びみやま市を中心に浸水被害等が発生

(2) 地震

福岡県筑後地方で、最大深度6強の地震により、家屋の倒壊、火災等が発生

9 訓練の特徴

大規模災害発生時の対応訓練として、県災害時受援計画に基づく支援・要請訓練等を実施するほか、自主防災組織、自衛消防隊による初期消火・救護訓練や、積み土のう工法による水防工法訓練といった、住民参加型の訓練を実施。

(1) 大規模災害発生時の対応訓練

☒ 県災害時受援計画に基づく支援・要請訓練

- ・ 被災情報収集・伝達訓練（広川町会場・みやま市会場）

☒ 避難指示（緊急）及び災害情報誌作成訓練（広川町会場）

☒ 避難勧告発令訓練（みやま市会場） 等

(2) 大規模災害発生時の対応訓練

- ・ 危険物流出处置訓練（広川町会場）

- ・ 密集市街地火災防ぎょ訓練（みやま市会場） 等

(3) 住民参加型訓練

- ・ 避難勧告・避難所設置運営訓練（広川町会場・みやま市会場）

- ・ 自主防災組織、自衛消防隊による消火・救護訓練
（広川町上会場・みやま市会場）

- ・ 水防工法訓練（広川町上会場・みやま市会場） 等

10 一般見学者向けイベント

広川町、みやま市の各会場では、訓練に合わせて下記のイベントを併せて実施

○広川町会場

- ・ 江崎グリコ株式会社：保存用ビスコの試食
- ・ 株式会社明治：液体ミルクの試飲
- ・ 九州地方整備局：ドローン映像の放送

○みやま市会場

- ・ NTT西日本：災害時伝言ダイヤルの利用体験
- ・ みやま市消防本部：けむりハウスの体験

その他、両会場において消防・警察等の防災関係車両、防災関係パネルの展示

**令和元年度福岡県総合防災訓練 訓練種目
(広川町会場)**

訓練 番号	訓練種目
1	避難勧告 避難所設置運営訓練
2	災害対策本部設置運営訓練
3	災害想定発表及び 緊急地震速報対応訓練
4	避難指示(緊急)及び 災害情報紙作成訓練
5	自衛隊派遣要請、消防相互応援協定に基づく応援 要請、緊急消防援助隊進出訓練
6	情報収集・伝達訓練
7	災害派遣医療チーム(県DMAT) 派遣要請訓練
8	受援計画に基づく支援・応援要請訓練
9	救援物資搬送訓練、 ボランティアセンター及び救護所設置訓練
10	食糧供給訓練
11	応急危険度判定訓練
12	自主防災訓練
13	避難所介護、応急救護、身元確認等訓練及び 車中泊避難者の把握・健康管理支援訓練
14	危険物流出处置訓練及び ライフライン応急復旧訓練
15	孤立者救出搬送訓練
16	道路啓開訓練
17	倒壊家屋、埋没車両からの救出訓練
18	集結訓練
19	土砂災害、水害対応水防訓練
20	大規模火災防ぎょ訓練
21	閉会式
	イベント展示

■ 別日程(6月1日(土))

9	救援物資搬送訓練 (海自艦艇からの給水訓練)
---	---------------------------

**令和元年度福岡県総合防災訓練 訓練種目
(みやま市会場)**

訓練 番号	訓 練 種 目
1	避難勧告・ 避難所設置運営訓練
2	災害情報伝達訓練
3	通行規制訓練
4	災害対策本部設置訓練
5	水防工法訓練
6	避難勧告発令訓練
7	緊急地震速報訓練
8	初期消火・救護訓練
9	被災情報収集訓練
10	孤立者救出搬送等訓練
11	自衛隊等関係機関応援要請訓練
12	受援計画に基づく支援・応援要請訓練
13	道路啓開訓練
14	医療救護・健康支援訓練
15	食糧供給訓練
16	応急危険度判定訓練
17	ライフライン応急復旧訓練
18	ボランティアセンター設置訓練
19	救援物資搬送訓練
20	救助・救出訓練、応急救護訓練
21	密集市街地火災防ぎょ訓練
	閉会式
	イベント展示

■ 別日程(6月1日(土))

19	救援物資搬送訓練 (海自艦艇からの給水訓練)
----	---------------------------

(5) 令和元年度福岡県原子力防災訓練について

1 目的

防災業務関係者の原子力災害対策への習熟及び防災関係機関相互の連携協力体制の強化並びに県民の原子力防災意識の向上を図る。

2 日時

令和元年 11 月 30 日（土） 8 時～14 時 15 分

3 場所

8 訓練内容を参照

4 主催者

福岡県及び糸島市（佐賀・長崎両県と連携）

5 参加者

144 機関 約 2,470 人

- ・ 参加機関：自衛隊、警察、消防、原子力規制事務所、九州電力等
- ・ 関係住民：約 1,750 人

6 訓練想定

九州電力株式会社玄海原子力発電所 4 号機において、定格熱出力一定運転中、佐賀県内において地震が発生した。その後、原子炉冷却材漏えいが発生したため、緊急負荷降下後、原子炉を手動停止した。原子炉停止後、非常用炉心冷却装置が作動したが、全ての交流動力電源が失われる事象などが発生し、炉心を冷却する全ての機能を喪失し、全面緊急事態となる。さらに、事態が進展し炉心損傷に至り、放射性物質が放出され、その影響が発電所周辺地域に及ぶ。

事故の進展に応じ、県、関係市町及び関係機関は国と連携して、地域防災計画などに基づく諸対策を実施する。

7 主な訓練項目

- 情報収集・伝達訓練
- 緊急時モニタリング訓練
- 広域避難訓練
- 原子力災害医療訓練

8 訓練内容

(1) 情報収集・伝達訓練

原子力災害時の情報収集・伝達を確実にを行うため、原子力発電所における事故や避難等に関する情報を収集し、関係機関に伝達する訓練を行う。

実施場所は、福岡県庁、糸島市役所ほか関係機関執務室。

- 九州電力が事故情報を福岡県、糸島市、福岡市に伝達
「原子力防災に係る福岡県民の安全確保に関する協定」及び原子力災害対策特別措置法に基づくもの
- 国が屋内退避指示、一時移転指示などを福岡県及び糸島市に伝達
- 県が九州電力や国から入手した情報を市町村などの関係機関に伝達
- 県が応急対策（緊急時モニタリング、広域避難、原子力災害医療）の実施状況を把握
- 福岡県警ヘリコプターが県に応急対策の実施状況の映像を伝送
- 県が道路障害情報の収集・伝達
- 国、OFC、関係自治体との間でテレビ会議を開催

(2) 緊急時モニタリング訓練

放射性物質による環境への影響を把握するため、緊急時モニタリング訓練を行う。

- モニタリングポストなどによる空間放射線量率の監視強化
- サーベイメータによる空間放射線量率のモニタリング
- モニタリングカーで環境放射線の測定を実施（UPZ内）
- 環境試料の採取測定
- 福岡県及び糸島市は、県内全域（サーベイメータによる空間放射線量率のモニタリング地点23ヶ所）でモニタリングを実施
- 緊急時モニタリングセンター（EMC）との情報伝達
- 3県モニタリング情報の共有

(3) 広域避難訓練

原子力災害時の広域避難を迅速かつ円滑に行うため、屋内退避訓練及び避難訓練を行う。

- ① 屋内退避訓練
 - ・ UPZ内住民の屋内退避訓練を実施（その後、避難訓練を実施）
 - ・ UPZ外住民の屋内退避訓練を実施
- ② 自家用車による避難
 - ・ 避難ルートに基づく避難
 - ・ 愛護動物の同行避難
- ③ 離島（姫島）避難
放射線防護対策設備を整備した施設で屋内退避を実施

- ④ バスによる避難
 - ・ 中継所方式による避難（UPZ 外に中継所（糸島リサーチパーク）を設置）
 - ・ 在宅の避難行動要支援者の避難
 - ・ 主要避難経路の通行止めを想定した交通規制・誘導及び迂回路による避難
 - ・ 福岡県バス協会との協定に基づく避難
- ⑤ 病院における避難
 - ・ 病院が策定した避難計画に基づき実施
 - ・ 中継病院（糸島医師会病院）を經由した避難
- ⑥ 介護老人福祉施設などにおける避難
 - ・ 介護老人福祉施設などが策定した避難計画に基づき実施
 - ・ 中継施設を經由した避難
- ⑦ 障がい者福祉施設における避難
 - ・ 障がい者福祉施設が策定した避難計画に基づき実施
 - ・ 中継施設を經由した避難
- ⑧ 学校, 幼稚園, 保育園における避難（二丈地区の2中学校、2小学校、2幼稚園、2保育園で別日開催）
 - ・ 学校, 幼稚園, 保育園が策定した学校等防災マニュアル（原子力災害対策編）に基づき情報伝達手順の確認
 - ・ 事態進展に備え、各学校・施設において取るべき対応を確認する
- ⑨ 長崎県からの広域避難
 - ・ ヘリコプターで壱岐市の^{じょうがしま} 蟬蛾島から芦屋基地まで移動後、中間市の避難所へバスで避難
 - ・ 船舶で壱岐市の郷ノ浦港から博多港まで移動後、中間市の避難所へバスで避難
- ⑩ 観光客等一時滞在者へ警戒事態時点での帰宅等呼びかけ【新規】
 - ・ 警戒事態の段階での帰宅呼びかけ（防災行政無線や緊急速報メールサービスによる手順確認）
 - ・ 集客施設を通じた帰宅呼びかけ（山間のキャンプ場やゴルフ場等3施設で手順確認）
- ⑪ 観光客等一時滞在者の避難等【新規】
 - ・ 自家用車等での帰宅が困難な一時滞在者について、催事の主催者が手配するマイクロバスによる最寄公共交通機関までの輸送、公共交通機関を使ったUPZ外への帰宅等

○ 実施場所

項目	避難元	一時集合場所	中継所等	避難先
①-1 屋内退避訓練	志摩地区 西貝塚行政区 二丈地区 大入行政区	—	—	—
①-2 屋内退避訓練 (UPZ 外住民)	石崎行政区 (糸島市 UPZ 外の一部)	—	—	—
②-1 自家用車避難	(二丈地区) 大入行政区 (志摩地区) 西貝塚行政区	大入公民館 西貝塚公民館	—	アクション福岡 (福岡市) 勤労青少年ホーム (久山町)
②-2 自家用車避難 (愛護動物同行避難)	(志摩地区) 西貝塚行政区	西貝塚公民館	—	勤労青少年ホーム (久山町)
③離島避難 (放射線防護施設での屋内退避)	姫島行政区	姫島福祉センタ ー はまゆう	—	—
④バス避難	(二丈地区) 大入行政区 (志摩地区) 西貝塚行政区	大入公民館 西貝塚公民館	糸島リサーチパーク (社会システム実証 センター)	アクション福岡 (福岡市) 勤労青少年ホーム (久山町)
⑤病院の避難 (病院車両)	小富士病院 福吉病院	— —	糸島医師会病院	— —
⑥介護老人福祉施設などの 避難 (施設車両)	志摩園	—	中継施設 (ウエストヒル創生園)	かすがの郷
⑦障がい者福祉施設の避難 (施設車両)	小富士園	—	中継施設 (ふれあい)	希望学園
⑧学校、幼稚園、保育園にお ける避難 (別日開催)	UPZ内の 学校、幼稚園、保育園	—	—	—
⑨長崎県からの避難 (ヘリ・船舶・バス)	長崎県壱岐市	蟬蛾島 (→芦屋基地) 郷ノ浦港 (→博多港)	—	中間市中央公民館
⑩観光客等一時滞在者の 避難等	西日本短期大学	—	乗車駅 (筑前深江駅)	—

(4) 原子力災害医療訓練

放射性物質による被ばくに対処するため、避難退域時検査・簡易除染訓練等を行う。

① 避難退域時検査・簡易除染

○ 中継所（糸島リサーチパーク）で実施する内容

- ・ 福岡県が避難退域時検査会場を設置
- ・ 関係機関と連携して、糸島市の避難者の避難退域時検査・簡易除染を実施
- ・ 陸上自衛隊がバスの避難退域時検査・簡易除染を実施

○ 福岡市、久山町の避難所で実施する内容

関係機関と連携して、糸島市の避難者、愛護動物の避難退域時検査・簡易除染を実施（愛護動物は久山町のみ）

○ 病院の避難における中継病院（糸島医師会病院）で実施する内容

- ・ 福岡県が避難退域時検査会場を設置
- ・ 関係機関と連携して、小富士・福吉両病院の避難者に対する避難退域時検査や簡易除染を実施

○ 被ばく傷病者等受入訓練

放射性物質による汚染が疑われる傷病者を原子力災害拠点病院（九州大学病院）へ搬送し、除染及び負傷の処置後、ホールボディカウンターによる測定を行う。

○ 介護老人福祉施設などの社会福祉施設の避難における中継施設で実施する内容

- ・ 福岡県が避難退域時検査会場を設置
- ・ 関係機関と連携して、避難者に対する避難退域時検査・簡易除染を実施

② 健康相談

福岡県が関係機関と連携して、福岡市、久山町の避難所で健康相談・健康講話を実施

③ 安定ヨウ素剤の緊急配布訓練

避難住民に安定ヨウ素剤の緊急配布訓練を実施